

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成27年4月2日(2015.4.2)

【公開番号】特開2013-185309(P2013-185309A)

【公開日】平成25年9月19日(2013.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-051

【出願番号】特願2012-48962(P2012-48962)

【国際特許分類】

E 0 3 D 13/00 (2006.01)

【F I】

E 0 3 D 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月16日(2015.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

立壁状の背面部と、この背面部の下方に連続して形成される底面部と、からなるポウル部と、

上記ポウル部の上記背面部へ洗浄水を吐水する吐水部と、

上記ポウル部の上記底面部に開口した排水口と、

上記排水口の上方を覆うように載置される目皿と、を有する小便器において、

上記底面部の上記排水口の周囲には上記目皿を載置するための目皿載置部が設けられ、

上記目皿及び/又は上記目皿載置部の上記背面部側には、上記目皿の前方よりも該目皿と上記目皿載置部との隙間から洗浄水が流出することを抑制する洗浄水流出手段が設けられていることを特徴とする小便器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記のような課題を解決するために、本発明は、以下のような手段を採用している。すなわち、本発明の小便器は、立壁状の背面部と、この背面部の下方に連続して形成される底面部と、からなるポウル部と、ポウル部の背面部へ洗浄水を吐水する吐水部と、ポウル部の底面部に開口した排水口と、排水口の上方を覆うように載置される目皿と、を有する小便器において、底面部の排水口の周囲には目皿を載置するための目皿載置部が設けられ、目皿及び/又は目皿載置部の背面部側には、目皿の前方よりも目皿と目皿載置部との隙間から洗浄水が流出することを抑制する洗浄水流出手段が設けられていることを特徴としている。

このように構成された本発明においては、洗浄水が目皿と目皿載置部の隙間から排水口側へ流出することを抑制することができ、目皿上面を通過する洗浄水の水量を増加させることができる。したがって、洗浄水が目皿上面全体に行き渡りやすくなり、目皿上面において不洗浄部が生じにくくなる。